

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業内容及び事業経費内訳

資料4

事業主体	区分	事業名及び実施概要	実績額	事業経費内訳 (単位:円)	総合戦略頁
安芸太田町	現年事業	【マイナンバーカードを基盤とした安芸太田町DX推進プロジェクト】 令和2年度から「デジタル専門人材派遣制度を活用して、現状分析、地域課題の整理等を実施し、本町に適したDX推進に向けて、「安芸太田町DX推進計画」を策定した。 令和5年度は「PUSH型行政サービス」「高齢者・児童見守り管理」「要援護者支援管理」を実装した。特に「生活MaaS」については、定額タクシーの利用履歴をDX共通基盤に蓄積し、今年度に機能拡張した公共交通の分析システムにより、タクシーのデマンド化に向けた分析が可能となり、デマンド対応アプリの開発も実施した。	29,356,900	● DX共通基盤と連携したシステム開発 ・公共交通システム連携システムの開発 2,506,900 ・防災・危機管理政策と連携したシステムの開発 15,190,000 ・地域通貨アプリを活用した行政情報通知サービスの開発 3,300,000 ・DX共通基盤と住民基本台帳システムとの同期化のデータベース改修 3,960,000 ・地域通貨プラットフォームとマイナンバーカードとの連携機能を実装 4,400,000 29,356,900	P.32
		【高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト】 本事業は、島根県が代表自治体となり全国の57自治体が広域で行っている事業に令和4年度より参画を行った事業となる。 令和4年4月から供用を開始した人材育成・交流センター～黎明館～の指定管理事業や、公営塾事業により、加計高校の魅力化の向上を図った。		● 広島県立加計高校支援事業プロジェクト ・地域みらい留学負担金 880,000 ・地域連携・課題探究事業等委託料 2,997,500 ・公営塾 3,570,304 ・寮運営委託料 25,522,000 32,969,804	
			62,326,704		

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1） 実績報告添付資料

事業主体	区分	事業名及び実施概要	実績額	事業経費内訳 (単位:円)	総合戦略頁
安芸太田町	現年事業	【教育DX推進事業】 デジタルサービス導入による教育DXの実現としてセキュリティの高い校務支援システム導入により教職員が児童生徒及び保護者と向き合う時間を増加させ、児童生徒の教育データ(AI型ドリル等)の学習データを利活用した個別に最適な学習指導と生活指導の推進を行う。	63,169,297	● 教育DX推進事業	P.18
				・校務支援システム導入 61,426,072	
				・AI型ドリル導入 1,743,225	
				63,169,297	
			63,169,297		